

2024 平和行動 in 根室

北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！
日ロ平和条約の締結を！

9月7日（土）～8日（日）、東海3県合同（愛知15名、岐阜6名、三重10名）で「連合2024 平和行動 in 根室」に参加しました。初日は、北方四島学習会（Aコース）で、講演と元島民の方のお話を聴きました。2日目は、納沙布岬・望郷の岬公園で、2024 平和ノサップ集会に参加しました。当日は天気も良く、遠くに北方領土の国後島、歯舞群島の一部を観ることが出来ました。全国の構成組織・地方連合会から計728名が参加しました。

1. 北方四島学習会

【Aコース】

日時 9月7日（土）13:30～17:00

場所 北海道立北方四島交流センター（二・ホ・ロ）2階「交流ホール」

<講演>

テーマ「海から見た北方領土問題」

山田 吉彦 氏 東海大学海洋学部海洋理工学科教授

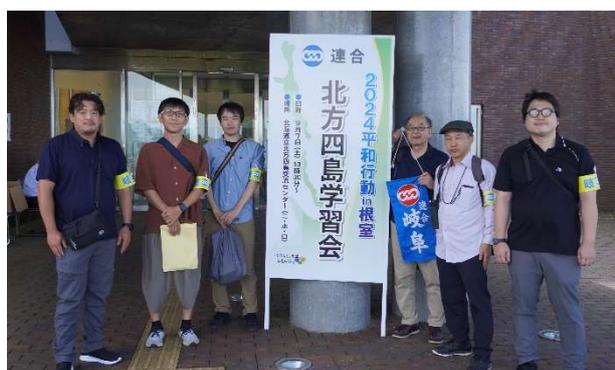
<元島民方の声>

「ふるさと北方四島への思い」

鈴木 咲子 氏 （元島民 択捉島出身）

児玉 素子 氏 （北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長）
元島民、歯舞群島・志発島出身）

講演では、山田教授から海洋問題と日本の海洋資源に、北方四島がどのように関わっているのか。豊富な資源がありロシアにお金を支払ってまで漁を実施している現状など説明されました。北方四島における共同経済活動については、民間企業の力、特別な制度（経済特区化）などについて話をされました。日米安全保障条約第5条1項についても触れられました。引続き北方四島返還に向け活動していくことが重要だと感じました。



元島民の2人からは、当時生活していた時の話や島の状況などの話があり、当時の島の地図のイラストを作成してまで詳しく話をされました。話を伺い素敵な島だったことを感じました。また、終戦後ロシア（旧ソ連）がどのように侵攻してきて、何を行なったのか。経験されたことを詳細に述べられました。聴いている者が、心を痛める話でした。島への想いも話され、島への愛着心、帰りたい気持ちも感じました。元島民も人数が減り高齢化しており、一日も早い返還が必要だと思いました。



2. 2024 平和ノサップ集会

日時 9月8日（日）11:00 ～ 12:00

場所 納沙布岬・望郷の岬公園

<次第>

1. 主催者挨拶・・・清水 秀行（連合事務局長）
2. 地元挨拶・・・須間 等（連合北海道会長）
3. 来賓挨拶・・・天沼 宇雄（北海道公営企業管理者）
石垣 雅敏（根室市長）
山本 茂樹（独立行政法人北方領土問題対策協会理事長）
4. 来賓紹介・・・児玉 泰子（北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長）
5. 元島民の訴え・・・鈴木 咲子（元島民、択捉島出身）
6. 特別報告（竹島問題）・・・神田 真哉（連合島根中部地域協議会大田地区会議議長）
7. ピースリレー・・・須間 等（連合北海道会長）
知花 優（連合沖縄事務局長）
8. 集会アピール・・・阿部 秀子（全道庁根室総支部組合員）
9. がんばろう三唱・・・浅野 康敏（連合北海道釧根地域協議会会長）

集会は、清水事務局長の挨拶、連合北海道会長挨拶、北海道、根室市、北方領土問題対策協議会理事長の挨拶と来賓紹介、元島民の鈴木咲子氏（択捉島出身）より「海の向こうに見える近くて遠い故郷が1日も早く返還されるよう運動を続けてきたが返還は実現されず、さらに墓参の道も閉ざされ、途方に暮れている。しかし、故郷に戻ることが叶わなかった同胞たちの墓前に良い知らせを報告するまで返還要求運動の灯を消すことなく取り組みを進めていく」と語りました。その後、ピースフラッグが連合北海道から連合沖縄に手渡され、集会アピールを採択し、最後にがんばろう三唱をして集会は終了しました。



3. 平和行動 in 根室に参加して

今年から、北方四島学習会が最初から参加できるように行程を変更して参加しました。移動中のバスの中で「ジョバンニの島」のDVDを鑑賞しました。北方四島のひとつ色丹島にソ連軍が進駐した様子、島の子どもとロシアの子どもとの生活、父との再会を思い続ける幼い兄弟の姿。二度と故郷に帰ることが出来なく

なった人たちの悲しみなどを描いた物語です。このDVDを鑑賞しておいたことで、北方四島学習会の元島民の方のお話は、すんなりと理解が出来、現実味をおびた話だと感じました。

2日目の集会は、天気も良く厚い中での開催でした。日焼けもして、北海道も岐阜と変わらない程暑いと思いました。式典は、全国の連合構成組織、地方連合会、共催団体、後援団体等多くの仲間の皆さんが結集されました。連合岐阜からは、JEC連合3名、情報労連2名、事務局1名の6名で参加しました。

この式典を通して感じたことは、戦後79年が経過し、元島民の人数も減り、平均年齢は88歳を超えた。残された時間は決して長くない。1日も速く北方領土問題を解決できるように政府に働きかけるとともに、北方四島返還運動を継続していく事が重要だと感じました。

連合平和行動は、沖縄・長崎・広島・根室の4行動が有りますので、皆さんもどれか一つに参加していただき平和や、領土問題について考えて頂ければと思います。

